

三心を磨く

学校だより NO. 25

平成28年12月28日(水)発行

須坂市立 東 中学校

文責：奥 幸雄(教頭)

<http://www.azuma-school.ed.jp/>

2学期終業式校長講話 12月28日(水)

平成28年も残すところ3日となりました。登校日数85日の2学期が、本日をもって終わろうとしています。

先日は、新しい平成29年度の東中学校の正副会長をはじめ、新役員が決定され、3年生の手による最後の生徒総会が無事に終了したことを、大変嬉しく思います。

3年生のみなさん、本当にご苦労様でした。みなさんの東中学校での生活は、3学期48日間しか残されていませんが、一人一人が進路実現を目指して、悔いを残さない一日一日を過ごしてほしいと思います。3年生の、明日からの年末年始休業中の頑張りに期待します。

2年生。いよいよみなさんの出番です。みなさんが、平成29年の新しい東中学校を創ることは、間違いのない事実です。新正副会長のリーダーシップのもと、どのような東中学校の生活を創ろうとするのかを常に意識して活動できるよう、一人一人の心構えを新たにしてほしいと強く願います。生徒会役員はもとより、2年生一人一人の自覚に期待します。3学期初日の、みなさんの挨拶、清掃、服装などの立ち振る舞いに注目しています。

1年生のみなさんには、新1年生を迎え、先輩としての範を示すという大きな役割が待っています。みなさんは、4月に本校に入学し、今の学級の仲間と力を合わせて、今の学級を創ってきました。学校は、みなさんに、4月、2つの教室と2つのグループを用意することはしましたが、今、みなさんが所属している1組、2組という学級を創ってきたのは、他の誰でもありません。みなさん一人一人です。みなさん一人一人の取組の成果であり、みなさん一人一人の責任です。あと48日間の1年生としての生活を、本当に大切にしてください。この経験が、みなさんを、新入生を迎える上級生に成長させてくれることと思います。期待しています。

さて、私は2学期の始業式で、「一人一人が輝く2学期に」してほしいと話しました。そして、そのような2学期にするために、一人一人が輝き、東中学校全体に、輝きを与えるために「東祭に全員で結集し成功させる」こと、自分自身の心を落ち着かせ、友だちを思いやって生活するために「心と生活を整える」こと、自分で自分の学力を高め、自ら積極的に学習に取り組むために「自ら学び学力をつける」ことを大事に取り組んでほしいと話しました。

3人の代表のみなさんの発表からは、それぞれが精一杯取り組んだ努力の跡が見えたと同時に、課題も見えていました。課題とした点については、3学期に克服できるように頑張ってください。

3学期、全校のみなさんに頑張ってもらいたいことがありますので、お話します。3年生は自分の進路実現に向けて、明日からの年末年始休業はもちろんのこと、3学期は受験勉強に専念してください。同時に、1・2年生は、それぞれが2年、3年に進級できるだけの学力を、3学期にしっかりとつけてください。春休みにやればいい、3年生になってからやればいいという安易な気持ちは捨て、自分はしっかりとした学力をつけて、一つ上の学年に進級するんだという気持ちで3学期を過ごしてほしいと思います。

生徒のみなさんにとって、来るべき平成29年が、そして3学期が、心ゆくものになることを願っています。どうか、希望に満ちた明るいよい年を迎えてください。生徒、職員が全員無事で、今日の日を迎えられたことに感謝しつつ、1月6日の3学期の始業式には、全員が、新年の決意を胸に、元気にさわやかに登校してきてほしいと思います。東中生一人一人が輝いた2学期であったことを嬉しく思うとともに、3学期を最高の締めくくりの学期にしてほしいと思います。

最後にもう一言、受験を控えている3年生、よい春を迎えられるように、勉強を頑張ってください。

2学期をふいかえて……(授業の様子から)



スクリーンでデジタル教科書の英語授業



NHKの取材が入った小集団の授業

2学期が終了します。様々な面での御支え、ご理解をいただき、ありがとうございました。
明日から1月5日まで冬休みになります。生活リズムを整え、体調に気をつけ、事故やケガのない、いい休みにしてほしいと思います。よいお年をお迎えください。